

令和元年 第6回別海町教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和元年年5月24日（金）
午前11時05分から午前11時50分まで
- 2 開催場所 別海町役場 4階第3委員会室
- 3 出席者（3名）

教育長	伊 藤 多加志
教育委員	木 村 江 里
教育委員	粥 川 一 芳
- 4 出席職員（17名）

教育部長	山 田 一 志
教育委員会部次長	石 川 誠
指導主幹	住 吉 幹 城
指導参事	根 本 渉
学務課長	入 倉 伸 顕
学務課主幹	池 田 卓 也
学務課主査	佐 藤 亮
学務課主査	大 山 晋 作
生涯学習課主幹	戸 田 博 史
生涯学習課主査	立 澤 雅 彦
生涯学習課主査	上 杉 大 洋
学校給食センター主査	成 瀬 広 子
中央公民館長	内 山 宏
中央公民館副館長	浦 山 佳代子
西公民館長	田 村 康 行
東公民館副館長	小 村 茂
図書館長	新 堀 光 行
- 5 議事日程 議案第1号 別海町総合スポーツセンター条例の一部を改正する条例
の制定について
議案第2号 別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告
書の提出について
議案第3号 別海町教育支援委員会委員の任命について

－【開 会】－

教育長
(伊藤多加志君)

ただいまから令和元年第6回の別海町教育委員会会議を開会いたします。

本日の出席者は3名ですので、別海町教育委員会会議規則第5条の定足数に達していますので、会議は成立いたします。

開会に当たり、私から一言ご挨拶申し上げます。

本日は、ご多用の中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。新年度が始まり、2か月が終わろうとしています。

各学校では、運動会・体育祭が始まります。早速明日は、本年度最初となります上春別小学校・中学校の合同運動会と別海中央中学校の体育祭が行われます。どの学校も天気に恵まれ実施できますよう、祈っているところです。

また、先日から、町内の学校、管内の学校でノロウィルスの感染がありました。現在は、欠席の児童生徒も少なくなってきましたが、各学校でも消毒等の対応を続けております。教育委員会でも、関係施設の消毒を行い、スクールバスの消毒も行っています。

また、話は変わりますが、旧奥行臼駅通所ですが、保存修理工事が完了し、一般公開が先日5月1日から再開されました。多くの方が見学に来てくださっています。現在までで、555名の方が見学に来ています。道外の方も多いようです。今後も、子どもたちの見学や、多くの町民の方にも見ていただきたいと思います。

来月からは、教育委員の学校訪問が始まります。各幼稚園・学校の様子、子どもたちの様子を直接見ていただくことで、それぞれの取り組みや成果、課題を共有したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日の日程に入ります。よろしくお願いいたします。

－【前回会議録の承認】－

教育長
(伊藤多加志君)

それでは日程第2、前回会議録の承認に入ります。

平成31年第5回の会議録について、事前に各委員さんに事務局から送付しておりますので、訂正御意見等ありましたら発言をお願いいたします。

(「なし」の声あり)

教育長
(伊藤多加志君)

なければ、承認することとしてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

教育長
(伊藤多加志君)

平成31年第5回の会議録について承認することといたします。

－【報 告】－

教育部長
(山田一志君)

それでは、日程第3、報告に入ります。

4月24日に開催しました、第5回教育委員会議から本日までの行事や実施事業等について事務局から報告願います。

それではお手元の資料によりまして、4月24日に開催されました第5回教育委員会議以降、本日までの主な行事や実施事業等について報告をいたします。

4月24日の午前10時から、第5回教育委員会議が行われました。

26日午後3時から、別海町特別支援学級合同事業運営委員会研究会、総会が行われ、同日午後7時から、郷里砂選手別海町後援会総会が行われました。

月が変わりまして5月1日午前10時から、史跡旧奥行臼駅通所の一般公開が再開しております。

5月7日午後1時30分から定例校長会議が行われました。

5月9日午前10時から、令和元年第1回別海町議会臨時会が開催され、同日午後8時から、中春別中学校におきまして、第1回中春別学校区コミュニティ・スクール推進委員会が行われております。

5月10日午後7時から、町民体育館におきまして、別海町体育協会評議員会・表彰式が行われております。

11日午前10時から、マルチメディア館におきまして、根室地区教育振興会総会、第1回教育講演会が行われております。

12日午前10時から、中央公民館で、第42回べつかいこどもまつりが行われております。

13日、中標津町役場におきまして、午前9時30分から、道立高等学校入学者選抜改善に係る説明会、それから午前10時35分から、平成31年度第1回公立高等学校配置計画地域別検討協議会が行われ、同日午後7時から、中央公民館で、別海町文化連盟定期総会が行われております。

14日、札幌市におきまして、北海道町村教育委員会連合会総会が行われております。

15日午前10時から、中央公民館で、寿大学合同入学式が行われております。

17日午前10時から、東公民館におきまして、尾岱沼寿大学入学式が行われ、同日午後1時から、第1回別海町社会教育委員の会議兼ねて公民館運営審議会が行われております。また、同日の1時30分から、上春別中学校におきまして、令和元年度上春別学校区第1回コミュニティ・スクール運営協議会が、そして午後3時から、令和元年度第1回別海町生き抜く力アッププロジェクト会議が行われておりま

す。

5月19日午前10時から、別海漁協施設におきまして、令和元年度別海消防団総合訓練大会が行われております。

5月20日午後1時30分から、令和元年度別海町小中学校PTA連合会総会、それから研修会が行われております。

21日午前10時から、西公民館におきまして、令和元年度西春別寿大学入学式が行われ、同日の午前10時から、中央公民館では、別海町乳幼児母親家庭教育学級、すくすく学級の開級式が行われております。また、同日午後1時30分から、別海高等学校におきまして、令和元年度別海町酪農後継者を育てる会総会が行われ、また、午後6時から、野付中学校におきまして、令和元年度野付学校区第1回コミュニティ・スクール運営協議会がそれぞれ行われました。

昨日23日午後8時から、上西春別中学校におきまして、令和元年度上西春別学校区第1回コミュニティ・スクール運営協議会が行われております。

以上で報告を終わります。

－【議 事】－

それではこれから日程第4議事に入ります。

議案第1号別海町総合スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について事務局からお願いします。

それでは、議案第1号別海町総合スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について、議案書の1ページをお開きください。

別海町総合スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について、別海町総合スポーツセンター条例の一部を改正する条例を次のように別海町長に申し出する。

条文の読み上げは省略し、別冊の議案資料で御説明いたします。

別冊議案資料の1ページをお開きください。

別海町総合スポーツセンター条例の一部を改正する条例の新旧対照表になります。左側が改正後、右側が改正前になります。

今回の条例の一部改正についてですが、平成30年度に町民体育館の内部改修工事が終了し、新たにトレーニング室の機能が町民体育館内部に設置され、本年7月中にトレーニング機器の一部が設置されることから、表中の、アリーナ・柔剣道場を、アリーナ・柔剣道場・トレーニング室に改め、アリーナ・柔剣道場と同額の個人使用料100円として定めることとするものです。なお、附則として、この条例は、公布の日から施行するものです。

また、トレーニング機器については、3年間で現在町民温水プール

教育長
(伊藤多加志君)

生涯学習課主査
(立澤雅彦君)

教育長
(伊藤多加志君)

に設置してある同等の機器のリースアップを予定しております。

今年度は、8台のマシーン機器を設置予定としています。

以上で説明を終わります。

内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。

(「なし」の声あり)

教育長
(伊藤多加志君)

御質問等がなければ採決いたします。

議案第1号について原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長
(伊藤多加志君)

異議がないようですので、議案第1号について原案のとおり決定することといたします。

次に、議案第2号別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について、事務局から説明願います。

学務課主査
(佐藤 亮君)

それでは、議案第2号別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について説明いたします。

議案の2ページをご覧ください。

本議案は、別冊でお渡ししています、令和元年度別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書を、4月24日に開催しました第5回教育委員会議内で決定した点検評価委員に提出するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項で、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められております。

また、同条第2項では、教育委員会は前項の点検評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

今後は、今回提出する実績報告書で点検評価委員の楠瀬功氏、青野芳樹氏に点検評価を行っていただき、その後作成する評価報告書を議会に提出するとともに、公表する予定となっております。

次に、別冊の令和元年度別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書をご覧ください。内容について説明させていただきます。

まずは、学務課1ページをご覧ください。

まず、学務課総務担当分について簡単に説明させていただきます。

上段は別海型コミュニティ・スクール推進事業です。こちらは平成

学務課主査
(大山晋作君)

30年度に推進委員会7地区、運営協議会1地区の設置を目標としておりましたが、実績として、推進委員会5地区、運営協議会1地区の設置となっております。

下段は、北海道別海高等学校教育支援事業です。

平成30年度につきましては、補助、助成について、全て実施しております。内訳としましては、通学費助成が141名、通信衛星授業補助が302名、寄宿施設の利用助成が10名、設置者助成が1施設となっております。

なお、評価は、コミュニティ・スクール推進事業をB、別海高校支援事業をAとしております。

学務課総務担当分は以上です。

続きまして、学務課資料2ページからになります、施設担当分の主な事業の概要について説明いたします。

資料5ページから7ページ及び10ページになります、野付小学校校舎・屋体、中西別小学校校舎、中春別小学校校舎、野付中学校校舎・屋体に係る煙突改修工事につきましては、平成28年度にアスベスト含有調査を実施したところ、煙突断熱材におきましてアスベストが含有していたことから、既存断熱材を撤去し、新しい断熱材に改修しております。工事につきましては、平成30年11月に完了しております。

続いて6ページ、11ページになります、中西別小学校、中学校の教員住宅トイレ改修工事になります。中西別地区全体の教員住宅、小学校4戸、中学校6戸のトイレを水洗化することを施設で計画しております。平成30年度におきましては、小学校住宅2戸、中学校住宅1戸にかかる浄化槽1機を設置し、水洗化を行っております。

続きまして8ページになります、西春別小学校高圧受電設備の改修につきましては、平成29年度までに引込柱・引込線の改修を実施しております。平成30年度は高圧受電設備キュービクル本体の更新も実施しております。

教職員住宅につきましては、おおむね築30年を経過した住宅につきまして、計画的に改修を行っております。平成30年度は、11ページになります、別海中央中学校の教員住宅1棟につきまして、外壁張り替え、屋根葺き替え、ボイラー入れ替え等の改修工事を行っております。

最後に13ページになります、上西春別中学校防音改築事業につきまして、平成28年度に完成しました校舎に続きまして、平成29年度から講堂の改築を実施し、平成30年9月に完了しております。そ

学務課主幹
(池田卓也君)

れに伴う外構工事については、平成30年10月に完了しております。

また、旧校舎、講堂のとりこわし工事につきましては、平成30年9月に着手し、平成31年2月に完了しております。

以上で施設担当の説明を終わらせていただきます。

それでは学務課学校教育・適正化等担当分について説明させていただきます。

学務課学校教育・適正化等担当分につきましては、学務課15ページから19ページになります。

担当の事業につきましては、小学校児童用図書整備事業、それから奨学資金貸付事業経費についてはB評価としております。

今回は、17ページ、18ページの学校図書に関する部分について、平成30年度からの取り組みの内容を説明させていただきます。

全小中学校の学校図書の充足率につきましては、平成29年9月30日時点での通常学級数を基準とした、図書の標準冊数の数値としております。

小学校で1番低い図書の充足率の学校が58.17%、高い充足率の学校につきましては151.28%となっております。

中学校につきましては、1番低い充足率の学校が60.72%、1番高い充足率の学校は156.40%という状況となっております。

このため、全学校の特に充足率が低い学校の学校図書整備を進めていく必要がありますので、平成30年度から各学校の学校図書の充足率を平成40年度末までに、平成29年度の通常学級をベースにした中で、全校100%とする目標を設定しております。

既に平成30年度からこの取り組みの実施を行っているところでございますが、本年度の予算につきましては、昨年と同額の小学校140万円、中学校で160万円、合わせまして300万円の予算という状況となっております。

このため、各学校の図書整備にかかわる予算配分につきましては、当面、図書充足率の低い学校に重点的に予算配分を行いつつ、充足率100%という目標を達成できるように取り組んでいくところです。

学校図書整備事業につきましては、事業目的として、児童生徒が読む図書の充実を図ることを目的としているところでもありますので、まずは設定した目標を達成できるよう、取り組んでいきたいと考えております。

学校教育・適正化等担当については以上になります。

給食センター主査
(成瀬広子君)

給食センター6ページ、給食センター運営費、賄材料費についてです。

生涯学習課主査
(上杉大洋君)

30年度は、新メニュー開拓に特に力を入れて、デザートも含め月2～3回は新メニューが入るように努めました。さらに、我が国の伝統的な食文化や季節折々の行事を楽しんでもらう行事食の献立も取り入れています。

そのほか、町内産の食材を一部使用した、べつかい給食を7回実施、まごはやさしいコンテストより6品実施しており、様々な食に触れることができるように工夫しました。

以上、給食センターの説明を終わります。

生涯学習課生涯学習担当の事業報告について、説明をさせていただきます。

まず、掲載事業の内、30年度実施として評価した事業は、19事業がありまして、生涯学習の1ページから15ページに掲載をしています。

事業数が多い為、ここで評価変更のあった事業について説明をさせていただきます。

まず、29年度から評価が変わっている事業としては3事業あります。

まず、生涯学習1ページ上段、ふれあいトーク宅配講座は、前年度Aの評価でしたが、30年度は、回数、受講者数ともに減少し、目標数値を達成することができませんでしたので、Bとしています。

2つ目ですが、生涯学習10ページ上段になります、青年海外派遣事業となっております。別海高校の酪農経営科、農業特別専攻科の生徒が実施する海外派遣事業に対して補助を行う本事業ですが、専攻科の派遣過程において、短期ホームステイを実施しておりますが、十分な語学力がなく、研修に支障があったとの高校からの報告を受けたことから、本事業の目的が十分に達せられなかったものと考え、評価をAからBに変更しています。

最後の3つ目ですが、生涯学習12ページの下段になります、子ども会育成事業です。対象である子ども会育成連絡協議会は、補助金の交付だけでなく、一部の事務も団体からの依頼によって生涯学習担当において処理をしている状況にありますが、評価指標項目の達成だけでなく、研修会の参加や各地区子ども会の活発な活動状況を踏まえ、評価を変更しております。

なお、休止とした事業が1事業ございます。生涯学習の13ページ上段にあります、旧光進小中学校校舎等利活用事業です。

これまでも活用件数が少なく、目標となる数値にすることが難しかった本事業ですが、平成30年度の事業計画作成時点において、大半

生涯学習課主幹
(戸田博史君)

の宿泊用住居がテレワーク、また移住定住事業によって使用されていたことから事業継続は困難として事業を休止している状況にあります。

以上で生涯学習担当の説明を終わります。

それでは文化財担当分について説明いたします。

生涯学習 16 ページから 21 ページまでとなります。

前年度と比較して評価の変わった事業はなく、8 事業すべて昨年と同じ評価としております。

生涯学習 19 ページの奥行地区文化財保存整備事業ですが、9 月末に 3 年間にわたる保存修理工事を無事完了し、10 月に見学会・報告会、臨時の一般公開を行っております。

また、詳細な工事報告書と発掘報告書を 3 月末に発行しております。評価は A としております。

文化財担当からは以上です。

生涯学習課主査
(立澤雅彦君)

それでは社会体育担当、点検評価内容についてご説明いたします。

生涯学習の 22 ページからになります。

内容につきましては、A 評価が 7 事業、B 評価が 3 事業、C 評価が 1 事業、D 評価が 1 事業、施設の整備が 3 事業となっております。

前年度と比較しまして、A 評価から D 評価への減が 1 事業、B 評価から C 評価への減が 1 つございます。

A 評価から D 評価になった事業は、生涯学習の 27 ページ下段の別海町パイロットマラソンの充実になりますが、10 月 7 日の開催に向け準備を行っていましたが、台風の影響から中止となりました。

このことから、開催には至らなかったということから D 評価としております。

次に B 評価から C 評価になった事業になりますが、生涯学習の 27 ページをお開き下さい。

総合型地域スポーツクラブ支援事業になりますが、現在は、上風連スポーツ協会がクラブ認定を受けたなかで活動を行っております。担当課としては各種会議研修の案内をしているのが、実際となっております。

今後とも、別海町体育協会、その下部組織が充実している中での、新たなスポーツクラブの設立は難しいと考えております。引き続き、情報の提供等は行っていますが、今回は評価を 1 つ下げて C 評価としております。

以上で社会体育課の説明を終わります。

生涯学習センター

続きまして、平成 30 年度生涯学習センター建設準備室分の事業の

建設準備室主査
(大山晋作君)

概要を説明したいと思います。資料の1ページとなります。

本事業につきましては、平成26年度から実施しました生涯学習センター整備に係る計画策定の結果を基に、防衛省所管の補助事業であります、民生安定施設整備事業の補助採択を受け実施しております。

平成30年度は生涯学習センターの実施設計を行っております。

全体の事業費は83,831千円で、うち補助対象事業費は78,127,400円となっております。財源内訳としましては、補助率75%の防衛省所管、民生安定施設整備事業補助金が58,595,000円、今回は一般財源に含めておりますが、生涯学習振興基金を4,306,000円繰り入れております。

生涯学習センターにつきましては、本年度から3か年の建設工事に着手し、令和3年度の工事完了を予定しております。

以上で終わります。

中央公民館長
(内山 宏君)

それでは中央公民館分をご説明いたします。

平成30年度において当館は、成人講座や異世代交流事業、少年事業など22事業を行いました。

自己評価でA評価が17事業、B評価が5事業、C・D評価はありませんでした。

それでは、当館において昨年度からB評価からA評価に変わった1事業について、ご説明します。

中央公民館8ページをお開きください。地域文化祭になります。

本事業は各地域において、児童生徒・サークル等の作品展・芸能発表・サークル発表交流などを実施する目的で、平成30年度では9月29日～11月3日までの期間に作品展、お茶会、フォークダンス、舞台発表会、サウンドフェスティバル、別海中央中学校の吹奏楽部定期演奏会の他に、フリーギャラリー展を実施しました。期間中は池坊合同生花展、絵画サークルイーゼル会による絵画展や個人作品によるリボンフラワーやちぎり絵を展示し、来館者に好評であったことから昨年度B評価からA評価にしております。

次に昨年度A評価からB評価にかわった4事業についてご説明します。中央公民館戻りまして3ページをお開きください。成人講座になります。

これについては目標5講座としていましたが、2講座に留まったため、B評価としました。

つづいて、中央公民館4ページをお開きください。公民館各種利用サービス促進になります。

公民館の利用件数は前年と比べ大幅に伸びておりますが、来館者数

西公民館長
(田村康行君)

が前年を下回り B 評価としました。要因として考えられるのは、高齢化によるサークル数の減少に伴って、会員数減があると思います。

つづいて、中央公民館 15 ページをお開きください。親子ふれあい事業になります。

前日の降雪の影響なのか、前年より参加者が少なかったため、A 評価から B 評価としました。

つづいて、中央公民館 19 ページをお開きください。クリスマス子どもの集いになります。

開催同日に近隣施設との行事が重なったため、目標人数を下回り A 評価から B 評価としました。次年度からは近隣施設の行事を確認し、日程を決めることや、イベントの開始時間も検討することとします。

以上で平成 30 年度の中央公民館事業評価の説明を終わります。

西公民館です。

西公民館では、平成 30 年度、23 のソフト事業を実施しましたが、評価につきましては A 評価が 16、B 評価が 6、D 評価 1 という結果になりました。29 年度と比較すると、A 評価は 3 事業減、B 評価は 2 事業増、D 評価は 1 事業増となっております。

評価を下げた主な事業ですが、1 ページに書かれている成人講座、2 ページに書かれている公民館各種利用サービスの促進事業、13 ページに掲載しております少年講座であります。

具体的には、成人講座、少年講座につきましては、目標講座数は達成したものの、参加者数が目標を下回ったため、評価を下げているものであります。

また、公民館各種利用サービスの促進事業につきましては、平成 29 年度においては、ピョンチャンオリンピックの郷里沙選手のパブリックビューイングのような大口が少なかったため、利用人数が減少したことから評価を下げているものです。

ただし、成人講座においては、卓球教室を開催したところ、参加者がその後も継続して卓球をする機会を設けるなど、数値には出ない成果が出た事業もありますので、今後も参加者数なども必要な要素ですが、公民館がきっかけとなってコミュニティが形成されるような事業展開をしていきたいと考えております。

以上で西公民館からの事業報告を終わります。

東公民館副館長
(小村 茂君)

それでは、東公民館所管分をご説明いたします。

平成 30 年度において、家庭教育や成人講座、異世代交流事業、少年事業など、20 事業を展開しております。

ソフト事業による自己評価で A 評価が 14 事業、B 評価が 4 事業、

C・D評価及び未実施事業はありませんでしたが、A評価からB評価となった事業が3事業ございました。

それでは、特に評価に変化のあった事業について、ご説明申し上げます。まず、議案資料、東公民館2ページをご覧ください。

ここに記載しております、リクエスト講座ですが、平成29年度実績のA評価から平成30年度ではB評価としています。

理由といたしまして、地域の学習ニーズに対応した学習機会の提供を目的とし、主体的に自ら気軽に学ぶことができるよう、その自主学習を支援する目的で実施していますが、目標値の3講座が達成できず2講座となったことから自己評価を下げております。

しかし、平成29年度実績同様、成人講座のグレードアップ講座としてアフター的に実施したり、地域内の人材を講師として依頼することで、参加者等の自主的な活動へつながるような取り組みができたものと考えております。

次に、議案資料、東公民館3ページをご覧ください。

公民館各種利用サービスの促進事業においては、前年度A評価からB評価としております。

本事業は、公民館の利用促進を図るため、利用方法や貸館状況の情報提供や施設設備の充実による利便性の向上のほか、公民館がコミュニティの場となるように推進することとしていますが、利用者において前年度比4,196人の減少となっていることからB評価といたしました。

主な要因としては、ロビーでの各種展示事業の減少や実施期間等が短くなったことによる来場者の減少が挙げられます。

今後は、このような展示希望者の促進や、展示情報の発信等に重きをおき、館内の掲示方法にも工夫を図っていきたいと考えております。

続きまして、議案資料、東公民館10ページをご覧ください。

芸術文化鑑賞事業ですが、本事業は隔年で実施する事業であり、著名な方を地域に招き鑑賞することで、地域の芸術文化の発展につなげる目的で行う事業であります。

平成30年度は、実施運営スタイルをこれまでの町主導から、地域の文化協会等と共に実行委員会を組織した中で、地域文化祭の一部として行うように開催いたしました。これにより、地域内の活性化やコミュニティ形成の一助として開催することができたことから、A評価としております。

今後も引き続き、関連する事業の実施時には地域と町が協力する形で事業を進めたいと考えております。

図書館長
(新堀光行君)

続きまして、議案資料、東公民館 18 ページをご覧ください。

別海町の生涯学習推進事業を代表する平成寿大学は、尾岱沼地区では、平成 17 年度から実施している通年型事業であります。

平成 30 年度では、当初の学習カリキュラムで予定した計画を、ブラックアウトや悪天候等の影響により実施できなく、特に学生が毎年楽しみしている修学旅行を中止としたことにより、また冬季の活動ができなかったりとしたことから B 評価としております。

事業全体といたしましては、評価に若干の違いはあるものの、ほぼ例年並みに目標に沿って実施できたと考えており、今年度につきましてもこの評価を踏まえて、各種事業を展開していきたいと考えております。

以上、東公民館所管分の説明を終わります。

続きまして、図書館事業でございます。

図書館につきましては、評価事業 21 点、がございました。ソフト事業が 16 件、ハード事業 5 件であります。

ソフト事業 16 件につきましては、A 評価が 7 事業、B 評価が 7 事業、C 評価が 0 事業、評価無しが 2 事業でございました。

それでは、ソフト事業の中から、今後改善や努力を要する事業についてのみ報告させていただきます。

図書館の 1 ページをお開きください。事業名、移動図書館車の巡回です。

利用人数、貸出冊数ともに目標値よりも少なかったため B 評価としております。

続きまして 6 ページをお開きください。事業名、各種展示及び場所の提供でございます。

展示利用の目標値 8 件よりも、6 件と、回数が少なかったため B 評価としております。

続きまして、A 評価から評価無になった事業でございます。8 ページをお開きください。事業名、講演会、原画展、各種講演事業でございます。

こちらは、隔年実施のため実施していないため評価無しとしております。

以上、図書館事業についての説明を終わります。

郷土資料館長
(新堀光行君)

続きまして、郷土資料館事業でございます。

郷土資料館につきましては、17 事業がございまして、内ソフト事業 15 件、ハード事業 2 件であります。

ソフト事業 15 件につきましては、A 評価が 11 事業、B 評価が 3

生涯学習課主査
(上杉大洋君)

学務課主査
(佐藤 亮君)
教育長
(伊藤多加志君)

教育長
(伊藤多加志君)

教育長
(伊藤多加志君)

学務課主幹
(池田卓也君)

事業、C評価が1事業であります。

内容につきましては、施設の一般公開や教育普及事業、収集所蔵資料などの整理と調査研究についての項目でございます。概ね当初の目標を達成しているものと判断します。

それでは、ソフト事業の中から、今後改善や努力を要する事業についてのみ報告させていただきます。

資料館の13ページをお開きください。事業名、郷土学習推進に関わる刊行物の作成です。

平成29年度に引き続き、刊行物の作成は無く、今年度C評価としております。資料整理及び調査研究を積極的に行い、刊行物を作成できるよう努力していきたいと考えております。

以上、簡単ですが、実績報告についての説明を終わります。

生涯教育研究所の事業報告について説明させていただきます。

別海町生涯教育研究所では、学校応援ボランティアリストの拡充・生活習慣改善のための継続調査・啓発活動、研究紀要・所報ふれットの発行、そして例年全戸配布をしておりますカレンダー版の学びの木の発行に係る4事業を実施しています。

平成29年度から評価が変更となったものについてはありませんが、平成30年度は新たに学び木の全改訂に着手するなど取り組みを進めておりますことを報告させていただきます。

以上で生涯教育研究所の説明を終わります。

議案第2号の説明は以上です。

内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。

(「なし」の声あり)

御質問等がなければ採決いたします。

議案第2号について原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議がないようですので、議案第2号について原案のとおり決定することといたします。

それでは議案第3号、別海町教育支援委員会委員の任命について、事務局から説明願います。

議案第3号、別海町教育支援委員会委員の任命についての内容について御説明いたします。

議案書の3ページをお開き願います。

教育長
(伊藤多加志君)

教育長
(伊藤多加志君)

教育長
(伊藤多加志君)

教育長
(伊藤多加志君)

教育長

別海町教育支援委員会につきましては、障害の状況や本人の教育的ニーズ、本人や保護者の意見、さらには医学、心理学等の見地からの意見、地域や学校の状況など総合的な観点から、就学先を決定しなければならないこととなっております。

また、可能な限り早い段階から本人や保護者、教育現場と情報を共有しながら、一貫した教育指導、教育支援ができるよう相談機能を兼ね備えております。

本件につきましては、昨年5月18日に開会されました、平成30年第7回教育委員会議において、委員の任期を2年として議決承認をいただいたところでございますが、教職員の人事異動及び校内体制等の理由により、昨年任命した委員に変更がございましたので、改めて変更となる委員の任命について本会議において承認をいただきたいものでございます。

議案書の4ページ、また、議案資料4ページをお開きください。

教育支援委員会の委員構成ですが、議案資料の記載のとおり、昨年と同数の23名の委員構成となっております。

御承認いただきたい方、今回変更になる方につきましては、網掛けになっている4番、5番、10番、14番、15番、16番、17番、19番、20番、21番の10人です。

任期につきましては、前任の所属校において任命した委員の残任期間として、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの1年間としております。

以上で議案第3号の内容説明を終わります。

内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。

(「なし」の声あり)

御質問等がなければ採決いたします。

議案第3号について原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議がないようですので、議案第3号について原案のとおり決定することといたします。

－【その他】－

それでは、日程第5その他に入ります。

事務局から何かございますか。

(その他なし)

委員さんから何かございますか。

(伊藤多加志君)

教育長

(伊藤多加志君)

(「なし」の声あり)

以上で本日予定していました案件については全て終了しました。

これをもちまして、第6回教育委員会議を閉会いたします。

皆さん御苦勞様でした。

－【閉 会】－